

あけぼのおと NO,4

お散歩が大好きな5歳児、ひまわり組の子ども達！今年は少し遠くまでお散歩に行ってみようという目標を立てて、お天気のいい日にはいろいろな公園へお散歩に行っています。そんなひまわり組のお散歩の様子をお伝えします。

季節を感じる

お散歩の際はみんなで季節を感じながら歩いています。春には桜を見て、夏には虫の観察や暑さを感じ、秋には落ち葉やどんぐりを拾って、四季を感じています。植物や虫の観察が大好きな子ども達なので、「この葉っぱは何の葉っぱなんだろう？」「保育園に戻ったら調べてみよう」等子ども達の方から積極的に調べるICTの活動に繋がっています。秋の落ち葉拾いでは、10月に「やきいも」があった為、「焼き芋たくさん食べたいから、たくさん落ち葉拾うんだ！」「落ち葉でもこの色の落ち葉だと焼き芋が美味しく焼けると思う」と子ども達なりにいろいろと考えながら「1人30枚を目標に拾おう！」と決めて、大きなビニール袋いっぱい落ち葉を集めることが出来ました。その後「やきいも」でみんなの拾った落ち葉を使い「焼き芋」を焼くことが出来、大満足でした。



虫の観察

お部屋で前から育てている「でんでんちゃん（かたつむり）」の他に夏に園庭で見つけた「クワちゃん（クワガタ）」を大切に育てています。秋の散歩の中で「どんぐり」や「栗」を発見し他のクラスのお友だちにプレゼントして喜んでいた子ども達。数日後、お部屋で小さな白い「いもむし」が歩いているのを発見し、「なんだろう？」「どこから来たんだろう？」と不思議そうに見ていました。「この子どうする？」「小さくて豆みたいだからまめちゃんって名前をつけて育ててみようよ」という子ども達の会議の中で育ててみることにしました。育てている中で「なんの虫なんだろう？」ということでICT（タブレット等）を使って調べて見ると「ソウムシ」の赤ちゃんだったことがわかりました。「大きくなってね！」と願いを込めて育てています。

